



# 脅威と威嚇 対応の手引き



## 対面による 脅威

身体的な対面による脅威は、脅している人が直近にいて、あなたが差し迫った危険にさらされている場合です。あなたには選択肢が三つあります:

- 1. 逃げる:** 逃げ道を特定する。逃げる際に邪魔になる持ち物は手放す。可能であれば他の人が逃げるのを助ける。911に通報する。
- 2. 隠れる:** 脅威の目が届かないところに隠れる。鍵をかける、または入口をふさぐ。携帯電話をマナーモードに設定して（バイブモードも消して）脅威が過ぎ去るまで音を立てない。
- 3. 戦う:** 戦うのは、身の危険が差し迫った場合にのみ最後の手段とするべき。脅威の無力化を試みる。可能な限り相手を攻撃する。

口頭での相手による脅威は、それを受ける側を差し迫った直接の危険にさらさない、或いは後に実行することを意図する。

- 脅威の文言を表現された通りに書き留めるか、他の方法で記録する。
- 脅し掛けてきた人物の特徴詳細を出来るだけ多く記録する: 名前、人種（外見、肌の色）、性別、身長、体重、髪と目の色、声、服装、その他の特徴等。
- 警察に脅威を通報する。



## 電話による 脅威

電話による脅威は、電話を通して受ける脅威です。脅威が直近にあったり、あなたや他の人が差し迫った危険にさらされていない限り、電話の発信者とその脅威についてできるだけ多くの情報収集を試みるべきです。

- 落ち着いて、電話を切らない。
- 電話の発信者との通話を可能な限り長引かせ、その脅威が特定なものか、現実的か、自分または他の人に差し迫った危険をもたらすものかを判断するために情報を求める。
- 可能であれば、近くにいる人に合図して聞いてもらい警察に通報してもらう。
- 電話の電子表示画面の情報を書き写す。
- 脅威の文言を正確に書き留める。
- 可能であれば通話を録音する。
- 警察官・職員に詳細を話すことに応じる。



## 電子メッセージ による脅威

電子メッセージによる脅威は、ダイレクトメッセージ、電子メール、ソーシャルメディアを通して受ける脅威です。ブラックメール(脅迫)または受け取り手が要求に従わなければ悪い結果になり得るといふ脅しも含まれる場合があります。

- 不明な送信者からの電子メッセージや添付は開かない。
- ソーシャルメディアで知らない人や未承諾の人とは通信しない。
- 自分のセキュリティ設定が必ず最高レベルのプロテクション（安全度）に設定されていることを確認する。

### 電子メッセージで脅威を受信した場合:

- メッセージを削除しない。科学捜査で重要な詳細が解明される可能性がある。
- コンピュータのメッセージを開いたままにする。
- 直ちに警察に通報する。
- メッセージ内容、件名、日付・時間をプリント、写真、または書き写しとしてコピーを取る。
- 電子的証拠を全て保全する。



## サイバー 攻撃

サイバー攻撃は、あなたの電子機器を危険にさらし個人情報を晒す可能性があります。

- 強固なパスワードを使い、同じパスワードは複数のウェブサイトには使用しない。
- ウィルス対策とマルウェア対策のアプリを自動アップデートに設定する。
- システムとソフトのアップデートが利用可能になり次第、直ちに適用する。
- 二要素認証を適用する。
- データを定期的にバックアップする。

### サイバー攻撃の被害にあった疑いがある場合:

- コンピュータ・システムの削除や変更をしない。
- 個人情報盗難からあなたの口座を保護するために直ちに金融機関に連絡する。
- パスワードを変更し不審なアクティビティがないか監視する。

差し迫った身の危険にさらされている場合、911に通報してください。

あなたが脅威を経験した場合、地元のFBI支局に連絡するか(リスト掲載: [www.fbi.gov](http://www.fbi.gov))、または1-800-CALLFBI(または1-800-225-5324)か[www.fbi.gov/tips](http://www.fbi.gov/tips)にて情報を通報してください。

電話かオンラインにてFBIに匿名で情報提供することもできます。



# 脅威と威嚇 対応の手引き



## 自分が脅威や威嚇を経験した場合は誰に連絡すべきか: 地元の警察かFBIか?

- 自分または他の人が差し迫った身の危険にさらされている場合、911で地元の警察に通報してください。
- 連邦犯罪に関係する脅威を経験した場合は、地元のFBI支局(リスト: [www.fbi.gov](http://www.fbi.gov))に、1-800-CALLFBI (または 1-800-225-5324)に通報するか[www.fbi.gov/tips](http://www.fbi.gov/tips) にて連絡してください。例としては、外国政府の職員、組織犯罪、または政府役員等からの脅威も含まれます。匿名で通報することが可能です。
- 全ての事件がFBI捜査の閾値を満たすとは限りません。あなたが連邦犯罪の閾値を満たさない事件の被害者である場合は、地元の警察署に通報する必要があるでしょう。嫌疑される犯罪を捜査するための閾値は、地方と州の管轄により異なります。



## 自分がFBIのインタビューに応じる場合、何を预期すればよいか?

- FBI捜査官とFBI支局で会うか、または別の場所で会うこともできます。
- FBIは加害者のこととあなたが経験した脅威詳細について出来る限りの情報提供を要求します。
- FBIは必要に応じて、後日連絡するためにあなたの連絡先情報を尋ねます。
- FBIはあなたの個人情報と機密保持の保護に尽くします。
- 適切であれば、インタビュー中にFBI被害者専門官が情報とサポート提供のために同席する場合があります。或いはインタビュー後に電話やメールで連絡する場合があります。



## FBIがクレームにつき捜査する基準閾値は何か、及び/または事件捜査を開始する基準閾値は何か?

- FBIは合衆国連邦法に違反する脅威、またそれらの脅威が危害や危険を人に及ぼすとされる件につき捜査をします。
- 米国政府が脅威に関する罪で個人を起訴することが可能かどうかは、以下の様な幾つかの要因に左右されます: 証拠の質、脅し行為を犯した人物を特定する能力、陰謀の特定、及び/またはその違反者を逮捕する能力。



## FBIが捜査を開始した場合、何を预期すればよいか?

- 連邦犯罪が犯された可能性がある場合、FBIが判断した場合、FBI特別捜査官が捜査を行います。捜査の一環として特別捜査官は証拠を収集します。この段階であなたや他の被害者がインタビューされる可能性もあります。
- 連邦大陪審であなたの経験を話すよう求められるかもしれません。
- 徹底した捜査が行われます。捜査終了まで長く掛かる可能性があるため、日々の進展についての情報アップデートは提供できません。逮捕や起訴などの大きな進展については出来る限りお知らせします。可能であれば、FBIはこの様な情報を公開する前にお伝えするよう尽力します。しかしFBIは捜査を危うくし得る若しくは警察への危険性を増大し得る機密情報は開示しないように常に気を付ける必要があります。
- FBI被害者専門官は、必要なサポート、情報、及び地元資源の紹介を、特定された被害者に提供することが出来ます。

あなたがどの様に脅かされ威嚇されたか詳細を報告した結果、捜査に至らなかったとしても、FBIが脅威を追跡し傾向を特定する助けになり他の被害者を支援することになるでしょう。

FBI支局の連絡先情報のリストは、州・都市別に [WWW.FBI.GOV](http://WWW.FBI.GOV) に掲載されています。あなたが差し迫った危険にさらされている場合は、911に通報してください。